ユニットだより

「スイカ割り」

真夏の風物詩の一つであり、また八月の催しと言えば、昔からスイカ割りが定番でしたが、最近は事情が違いめっきりスイカ割りの機会が少なくなりました。

そんな訳で、ご利用者様にあの懐かしい季節感を味わって頂こうと、八月二十四日にスイカ割りを行いました。（写真）

当日はショートご利用者の奥様とご家族も応援に来て下さいました。

自ら名乗りを挙げたお二人をはじめ五名の方がこの日の主役に挑戦されました。

当初職員の間では、スイカを割る「棒」は軽いものにして、割れなくても雰囲気を味わえばと考えて（スイカの値が高いから？）いましたが、利用者様の提案で急遽、竹の棒を使用する本格的なものに変わりました。

タオルで目隠しをし、

大玉スイカの前までお連れし「棒」を振り下ろして頂きました。目の前にあると分かっていても、僅差で当たらなかったり、当たってもヒビ割れる程度でなかなか割れません。最後、M様に目隠しをせずに二度振り下ろして頂いたところでお開きとなりました。

その後、スイカを切り分け皆様に振る舞うと、「見た目よりも甘くないね」などと話されながら笑顔で召し上がっていました。

（Aユニット・ショートステイ　M）

「手作り装飾」

Dユニットでは、季節に合わせた装飾に力を入れています。現在は、夏にちなんだ飾りつけということで、金魚すくいのモビールや各居室の入り口には、フェルトで作ったヒマワリやスイカをあしらった表札を飾っています。

どちらも職員の手作りでとてもかわいいです。また、手作りとは思えないほど手が込んでいて、お店で売られているものと比較しても遜色がありません。（写真）

他にも手作りの気球のモビールやウェルカムボードもあります。モビールは、紙などで作ったモチーフを糸で吊るす装飾品で、風が当たるとゆらゆらと揺れるので動きがあり、入居者の皆様の目を楽しませてくれています。

そしてもう、九月に入りそろそろ秋めいてくる時期となったので、秋をイメージした装飾に衣代えしていくと思います。

秋と言えば何を想像するでしょうか・・・？

食欲の秋、芸術の秋、読書の秋・・・とありますが、Dユニットはどんな秋になるでしょうか？お楽しみに♪

（Dユニット　K）

季節折々の歌

夏の思い出三首

―七月選挙、八月台風―

（一号館ショートご利用者・須永清様作品）

●水仙の　しがらみ切って　池の乱　見事に咲かす　大百合の花

●八月の　五号台風　列島を　呑み込むごとき　この暑さかな

●山開き　いつの間にやら山の日と　暦赤文字　休日となる

（秀峰）

すこやか生活日誌

今年の十五夜は九月十五日です。この時期は一年を通して最も月がきれいに見えると言われています。十五夜と言えばお月見団子とススキが思い浮かびます。今回はその由来について調べてみました。

十五夜は穀物が豊かに育つ秋の収穫に感謝するための行事です。月の満ち欠けとともに作物が成長することから月は縁起が良いものとされてきました。秋に収穫される米を使い、満月に見立てて団子をお供えしたのがお月見団子の由来だそうです。ススキは稲穂によく似ているため用いられるようになりました。

これから食欲の秋がやってきますね。季節の変わり目で体調を崩さないように気を付けましょう。

（管理栄養士）

編集後記

台風時期に差し掛かり天気の乱れも見られます。私の住む地域でも、台風や大雨の被害により土砂崩れなどが報道され、ちょっとした驚きを感じています。

先の台風では、東北や北海道の被害は甚大でした。もし災害に巻き込まれたら、皆さんどうしますか？やはり自分も男ですから、オドオドせずに対処したいものです。どんな素養が必要でしょうか、ちょっと考えてみました。

①サバイバル術　②周囲への気配り　③男気又は人情　④行動力　こんな感じですかね。優先順位が高い方から並べてみましたが、みなさんはどんな素養とどんな優先順位をつけますか。聞いてみたいです。

（管理者）